

# お楽しみ！第19回健康まつり

## 1万人組合員を達成しよう！

### 10月3日(日) 9:30~14:30 市福祉体育館・公民館

協力券が健康まつりを支えます。ご協力を！

中止になった昨年の分も楽しまなくちゃね

# さるかどした

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001 八戸市  
類家5-38-20  
tel 0178-71-3456  
fax 0178-73-1175  
発行責任者 内田弘志

住所変更の時は早めにお知らせ下さい。

## 第19回健康まつりへのお誘い

実行委員長 清野喬治



昨年は新型インフルエンザの流行によって、健康まつりが中止になりました。今年は改めて仕切りなおし第19回目の健康まつりとなります。

今年の健康まつりは年来の目標である「1万人組合員」達成に向けての大事な月間のスタートに当たります。協力券普及の活動を組合員増やしにつなげましょう。体育館ステージでは、地元第一中学校ブラスバンド部のみなさんのオープニング大演奏に続いて、メインゲストの真打講談師田辺鶴暎さんの自ら経験された介護講談が楽しみです。医療生協ならではの健康づくりコーナーをはじめ、模擬店、子どもコーナーなど、多くの方の参加をお待ちしています。

## 三人の介護経験を講談に 「はつとけ心のアッパレ介護」

講談師 田辺鶴暎さん

これまで実母と義母を介護され看取られた経験の鶴暎さんは、現在は寝たきりで認知症の義父を自宅で介護されています。三度目の介護です。鶴暎さんはこれまで、そして三人目の今

もどのように介護と向き合いながら講談師として活躍されているのでしょうか。介護が切実な課題になってきている今日、笑いと涙で語る鶴暎さんの「介護講談」が待ち遠しくなります。みなで元気をもらいましょう。



1955年、北海道出身。18歳から3年間、入院中の意識不明の実母に付き添う。31歳から3年半、義母を介護。05年から義父を自宅で介護。ホームヘルパー2級。03年に真打昇進。94年より「介護講談」を全国1000カ所以上。新聞、テレビでも大きな話題に。



※体育館と公民館のつなぎ廊下に掲示します



保健コーナー(公民館2F)では健康相談・薬の相談などお気軽にどうぞ。



※フリーマーケットも。新たに生健会も模擬店を開きます。



午後の体育館では大演芸会。各支部が自慢のかくし芸でステージを飾ります。



公民館の中庭では初心者のみなさんが楽しくグラウンドゴルフを体験することができます。



子どもの広場は毎年人気が高く、多くの子どもたちで賑わいます。八建協の「子どもの丸太切り体験」は親子で好評です。



マッサージ・コーナーもあります

## 医療生協ならではのお楽しみコーナー



第一中学校吹奏楽部

## オープニングはブラスバンドのすばらしい演奏で

大編成の第一中学校吹奏楽部は、これまで各種のコンクールで金賞、銀賞に数多く輝いています。今後いっそうの活躍を期待し、私たちも大いに応援していきましょう。地域との連携を教育活動の方針として掲げ、医療生協とも生徒の職場体験などで協力しあっています。

## 体育館のプログラム

- 9:00 受付開始
- 9:30 オープニング  
第一中学校吹奏楽部演奏  
開会式  
実行委員長・理事長挨拶
- 10:30 介護講談田辺鶴暎さん  
「はつとけ心のアッパレ介護」
- 11:30 リズム体操  
みんなで体を動かそう
- 12:00 昼食タイム
- 13:00 お楽しみ大演芸会
- 14:25 閉会式

## 生活相談コーナー 予約にご協力ください

今年には橋場丈俊弁護士の他に新たに古玉農二税理士も担当します。限られた時間の中なので事前の予約をお願いします。



## 虹の旗

終戦65周年の暑い夏もやっと終わりで、9月に入りました。この夏の話は「100歳以上」の高齢者の所在不明問題でした。家族の絆が弱くなり、高齢者にはますます厳しい時代になっています。一方、幼い子どもたちが虐待されたりまた放置されたりして亡くなる事例も報道されています。

こうした二つの事例は単に「家族の絆」だけにその原因を求めることが出来るのでしょうか。社会の中で一番弱い所にその歪が現れているのではないのでしょうか。二年ほど前から厚生労働省は、民生委員の削減を目指していると言いました。一時は地方からの抵抗で断念していたようですが、本来であれば住民の生活に一番近いところにいる「民生委員」を増やし住民の生活と安全を見守るべきところに予算の重点を置いて欲しいものです。

## 生協診療所休診日 (毎月最後の土曜日)

- 9月25日(土)
- 10月30日(土)
- 11月27日(土)

(せいの)



医療生協の地域密着型小規模多機能ホーム「みなみるいけの家」

# “いざという時の安心”はみんなの切実な要求です

## —どうなっている？八戸市の介護保険—

八戸市は平成21年度介護保険事業の概要を公表しています。健康まつりでの田辺鶴咲さんの「介護講談」を前に八戸市の現状をいくつか紹介します。



### ①市民の5人に1人が高齢者

—八戸市の高齢化率22.5%—

高齢者人口	54,669人(22.5%)
65歳～74歳	29,754人(12.3%)
75歳以上	24,915人(10.3%)

### ②高齢者の6人に1人が要介護認定者 (15.7%)

65歳～74歳	1,457人(4.9%)
75歳以上	7,149人(28.7%)
高齢者計	8,606人(15.7%)
40～64歳	349人

### ③介護サービスを利用している人は認定者の91.5%(8,115人)

居宅サービス	5,999人(73.9%)
地域密着型サービス	668人(11.3%)
施設サービス	1,372人(16.9%)

### ④居宅サービス利用率トップは通所介護

※上位6番目まで

通所介護	3,084人(51.4%)
訪問介護	2,413人(40.2%)
福祉用具貸与	2,150人(35.8%)
通所リハビリ	1,828人(30.5%)
訪問看護	763人(12.7%)
短期入所	546人(9.1%)

### ⑤施設の入所者は要介護4以上が多数

特別養護老人ホーム	545人(38.8%)
介護老人保健施設	649人(46.2%)
介護療養型医療施設	211人(15.0%)

#### 【入所者の平均要介護度】

- ・特養ホーム 4.2
- ・老健 3.7
- ・介護療養型 4.0
- ・全体 3.9

(注)八戸市内の施設はどこも待機者が多く、施設の増設は切実な問題です。

⑥居宅サービスは、要介護度ごとに1割の利用料負担。八戸市の支給限度額(月額)に対する利用率は平均で51.4%。※1割負担が重くて利用率が半分程度としたら大問題です。

政府の社会保障審議会介護保険部会は8月23日、「要支援」の居宅サービスから「生活援助」外しを提案。これは看過できない問題です。(う)



# この夏、猛暑に負けずがんばりまくった

～支部・班・サークル・委員会・組合員活動あらかると～



原水爆禁止世界大会報告の梅津さん



8月9日、三日町での署名行動

広島の世界大会に参加してきました

原爆ドームを始め遺跡や記念碑を見ることで、原爆の威力の凄まじさを感じました。同時に広島市民が原爆の事実を後世に伝えていこうとする運動が現在まであったことに気付きました。核兵器をなくすためにできることから一歩を踏み出したいと思いません。(梅津諒・通所リハ職員)



長者支部の小菊班では7月23日、大杉平集会所で職員の介護福祉士を講師に介護講習・介助の仕方について勉強しました。小菊班はすでに100回を超える班会を続ける最も活発な班です。



二中支部鴨ヶ池班・沼館班は7月11日～12日、「五能線の旅—十二湖トレッキング」を1泊2日で楽しみました。



未来の医師をめざす高校生の「一日医師体験」が8月に二回に分けて行われました。八戸市と十和田市の高校生が参加しました。写真は、診療所の看護師といっしょに訪問看護の患者様を訪ねたようすです。



山の会・藤里駒ヶ岳(1158m)登山に30名参加 山の会は7月の岩手山、早池峰山に続いて8月22日、白神山地に近い秋田県の藤里駒ヶ岳に30人全員が登頂しました。



三中支部は8月9日、柏崎公民館で支部総会を開催し、今後の活動計画を確認しました。



## あんしん相続を考える

古玉晟二

### ◇新シリーズ・古玉晟二の辻説法◇

#### ○世相より

酷暑にうだるこの頃、一〇歳を超える世代の(幽霊)が多数出廻り、あまりのひどさに寒気も覚えない。表現を変えると「年金泥棒」ともなる。死んだ人が「金」を持つていく訳はないから、勢い昭和生まれの息子たちの責任であろう。田舎では関係ないとはつとくと、形を変えた異変が起きることを恐れる。

「死」とは本来「尊厳」なものである。古来より看取る人は決まっていた。白骨化するまでも放っておく身内。いつ頃からそうなったのだろうか。この私も、茶寿(一〇八歳)まで生きられたら孤独死を迎えるのだろうか。

「遺言」・「法定後見」とは、法律制度もいろいろ作られてある。だが、実行段階では不都合な事も起きる。「遺言」は死後役に立つが、「死」の瞬間がスムーズにいくよう考え、同志を募っていききたい。

※古玉さんは税理士法人「八戸経営会計事務所」代表。また、非営利団体「あんしん相続を進める会」代表。事務所は小中野に。今年度より医療生協の幹事に就任。



武部 佳子(さるかどした・介護福祉士) 若輩者で至らない事も多いかと思えますが先輩方のような笑顔の素敵な職員になれるよう頑張りたいと思います。



川上 里香 (診療所・医師) 出身地は徳島県です。三年目とまだまだ勉強中ですが、八戸をもっと元気にできるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

診療所の医師が三人になります

## 新入職員紹介